



## 吹奏楽部、今年最後のコンクールで健闘！

12月4日(土)、須賀川文化センターで、福島県アンサンブルコンテスト県南支部大会が行われました。緑川穂香さん・菊池真雪さん・星凜音さん・和知花穂さんの4名は金管四重奏に、近藤結衣さん・齋須心晴さん・沼田鮎花さんの3名は木管三重奏に出場しました。2組とも、これまでの練習の成果をしっかりと発揮し、素晴らしい音を会場に響かせました。特に、**木管三重奏では銀賞**に輝きました。念願の銀賞です。素晴らしいですね。

出場した7名の皆さんに拍手を！  
尚、結果は次の通りです。



木管三重奏	銀賞
金管四重奏	銅賞

## 原陽菜乃さん、朝河貫一賞

2年の原陽菜乃さんが、福島県教育委員会主催の「国際理解・国際交流論文朝河貫一(あさかわ かんいち)賞」で入選し、来る1月5日(水)にふくしん夢の音楽堂大ホールで表彰されることになりました。

朝河貫一は、二本松出身で福島市で育ち、福島県尋常中学校(現安積高等学校)を卒業し、東京専門学校(現早稲田大学)を経て、アメリカのダートマス大学・イエール大学で学んだ後、その2大学で教鞭をとりました。彼は、第二次世界大戦中、日米開戦を避けるために日本の天皇宛の大統領親書の案を作成するなど、戦争を防ごうと努力をしました。

朝河貫一の有名なエピソードが残っています。尋常中学校時代、英英辞典を覚えるとそのページをやぶって食べ、最後に残った表紙を桜の木の下に埋めたとされています。安積高等学校には、その桜が残っていて、「朝河桜」と呼ばれています。また、主席で卒業した彼は、卒業生代表の答辞を英語でスピーチし、外国人教師から称賛されました。

このような朝河貫一を祈念して、国際理解や国際交流に関する論文コンクールができ、中高生対象に毎年実施されてきました。

原陽菜乃さんは、SDGsのことや将来の職業について考え、世界に貢献したいという論文を書き上げました。それが評価され、入選となったわけです。

詳しくは、1月の表彰後、再度、お伝えいたします。

## 新聞に、生徒作文掲載！

12月6日(月)の福島民報新聞の「みんなのひろば」に、2年生の角田峻さんの作文が掲載されました。生徒会役員選挙の演説内容がもとになっています。

以下に、その作文を掲載しますので、御覧ください。

清掃で校舎磨き、心すがすがしく

角田 峻(2年)

僕は今回、生徒会副会長になりました。1年前にも生徒会役員への立候補について考える機会がありましたが、自分に自信がなく、挑戦できませんでした。

しかし、代議員になって学年のリーダーとして活動する経験を通して自信ができました。学級や学年だけでなく、学校全体をより良くするために何か自分にできることはないかと考えるようになりました。

僕の選挙公約は「学校の美化に努め、環境を良くするために率先して活動する」です。毎日の清掃がきっかけで、そう考えるようになりました。

2ヶ月ほど前、床を雑巾掛けしていると、絵の具のような汚れがあちこちについていました。階段の壁の上の方は、ほこりがびっしりついていました。同じ班の人や先生と一緒に汚れをふき取り、ほこりを払いました。きれいになった所を見た時、とてもすがすがしい気持ちになりました。校舎がいつもきれいなら、毎日すっきりした気持ちで生活することができると実感したのです。

この公約を果たすため毎日の清掃だけでなく、全校生徒で環境整備や美化活動に取り組んでいきたいと考えています。「清掃で心を磨く学校」を目指していきたいです。



## 「17字のふれあい」、校長賞！

今週は、校長賞、絆部門2学年の部の発表です。

### 【絆部門2学年の部】

#### ◎ 最優秀賞

「リバウンド 再び取る日 松葉杖」	鈴木煌太郎さん
「思春期に 会話が増える 送迎車」	鈴木友恵さん(母)

#### ◎ 優秀賞

「毎日の 部活の洗濯 母感謝」	深谷柚羽さん
「青空の うれしきよごれ うんどうぎ」	深谷絵美さん(母)

「剣道部 めざせ県大 日々けい古」	緑川月希さん
「帰宅して 汗のにおいに 努力見る」	緑川友紀さん(母)